

## コンサートホール・能楽堂における新型コロナウイルスの出口戦略

### 1 今後の運営方針

【方針】新しい生活様式に即した、with・after コロナの芸術・文化鑑賞

【具体例】①ソーシャルディスタンスを意識した座席分配（収容率50%）

②入場時の密集対策（検温ディスプレイ、もぎり簡素化、来場者の特定）

③業界ガイドラインの徹底（演者、観客、スタッフ）

＜参考＞ イベント開催制限の段階的緩和の目安

時期		収容率	人数上限
【移行期間】 ステップ① 5月25日（月）～	屋内	50%以内	100人
	屋外	十分な間隔	200人
ステップ② 6月19日（金）～	屋内	50%以内	1,000人
	屋外	十分な間隔	1,000人
ステップ③ 7月10日（金）～	屋内	50%以内	5,000人
	屋外	十分な間隔	5,000人
【移行期間後】 感染状況を見つ、 8月1日（土）を目途	屋内	50%以内	上限なし
	屋外	十分な間隔	上限なし

### 2 段階的な施設稼働について

#### (1) 動画配信

- ・パイプオルガン体感ツアー映像【6月16日】
- ・能・狂言の過去公演のシリーズ映像【6月下旬～】
- ・無観客公演（NHK朝ドラ「エール」主人公の作曲家の楽曲）映像【8月中旬】

#### (2) パイプオルガン公開弾き込み見学会【6月19日】

専属オルガニストのパイプオルガン演奏練習を公開し、施設の稼働をPR

※全国的なイベント開催制限の移行期間＜ステップ②＞に合わせ開催

#### (3) 豊田市ジュニアオーケストラ練習再開【7月5日】

3月から活動を自粛していたジュニアオーケストラが、舞台上でのソーシャルディスタンス確保やパートでの分奏等、十分な感染予防対策を講じ練習を再開

#### (4) 音楽活動者応援事業「コンサートホール・能楽堂の舞台に立つ!」【7月10日～】

鑑賞事業や利用団体が減って空きのある舞台の有効活用策として、市内の音楽活動者に期日限定（無料）で貸し出し、発表や練習の場を提供

※全国的なイベント開催制限の移行期間＜ステップ③＞に合わせ開催

#### (5) 豊田市少年少女合唱団活動再開 合唱録音【7月下旬】

3月から活動自粛していた少年少女合唱団が、感染予防対策を講じながら合唱を録音

#### (6) 「新しい生活様式」公演訓練【7月25日】

音楽団体と連携し、今後再開される鑑賞事業（コンサート等）での感染予防対策の実践訓練を開催

※全国的なイベント開催制限の移行期間後となる＜8月1日＞前に開催